



国際ロータリー第2800地区

会長 加藤 功
幹事 富樫 松夫

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

超我の奉仕

第2280回 例会会報 平成17年8月9日(火) 曇(本年度 第5回)

会長報告

加藤 功

私の新世界奉仕活動は、山形大学の学生の教育を通じて行ってきました。次世代を担う若者の育成は人類繁栄の一大事業です。それは2つのベクトル(座標)で行われます。1つは曾祖・祖・親・子・孫と時間ベクトル、2つは家・集落・地域・国家・世界と空間ベクトルです。その座標ベクトルのなかで山形大学は、大学・大学院で諸科学(学問)教育を施すことによって、18歳～30歳までの若者(子)を山形大学という地域で育てるという役割を担っています。大学教育は、通常120単位を4年間で取得し卒業します。それは講義・演習・実験・実習を通して行われます。

私は、農業経営・経済学の専門教育を担当していることから、合理的な経営・経済方法を解明することを目的とする、講義・演習・実験・実習を行ってきました。農業経営学の講義では伝統的な講義内容とともに経営者意志決定でもっとも重要な「経営計画の樹立と実行」の視点から線形数学の原理を応用した線形計画法の修得に力を注ぎました。実験・実習では農業簿記の、記帳方法を徹底して指導しました。農業簿記は家族労作経営に適用される自計式簿記(単記録複計算)から始めましたが、近年では企業的農業経営に適用される複式簿記の記帳方法を採用しました。企業的養鶏経営の事例を用いた経営現象を財産＝資本の原理に従って取引に仕訳して決算書類、貸借対照表と損益計算書を作成します。自然科学を重視する農学部の大学生には大変苦痛のようでした。講義の最後は試験です。農学言論の試験問題では農業の産業的特質を、農業経営学では線形計画問題(連立1次不等式)を必ず出題しました。経済学ではケインズの有効需要の原理を用いた経済モデルにより国民所得を算出する問題です。

現代の大学生は勉強していないとよく言われま

す。確かに外国人留学生と比較するとそのようですが、経済社会構造が激しく変容する時代では大学生の夢や希望も動揺しています。日本は国際的な競争力に耐え得る農業が求められますが、そうした理想と現実には大きなギャップ・ミスマッチがあります。

さて、いずれにしても、世のため人のために役立つ人材を送り出さなければなりません。そのとき、はなむけの言葉を述べる機会があります。いつも引用するのは学問の神様と言われた菅原道真の和歌に準じた歌ですが、今、私がロータリアンとして大学生にはなむけの言葉を述べるとすれば、将来の行動指針として「4つのテスト」です。しかしながら、学生時代にテストでさんざん苦しめられたテストの言葉では旅立ちの開放感に満ちている時にはふさわしくないとわれ、「4つのテスト」を「4つの誓い」の言葉として次の通りに意識してみました。

- ①真実に照らして行動する(真実)：真—万物の原理—哲学・自然科学
- ②みんなに公平に振舞う(公平・公正)：善—人間社会の原理—人間科学
- ③好意と友情を深める(心情)：美—人間社会の原理—人間科学
- ④みんなの幸福を求める(公益)：幸：人・自然の共生の原理—実際科学

とします。さらに如何でしょうか。皆様のご感想を切に乞うものであります。

◎会長報告

- ①本日午前、臨時理事会で50周年記念事業の方針を決めました。
- ②インターアクト年次大会が5、6日に飯豊町で開かれ、藤川・佐藤・塚原会員が出席。

自分にも出来る温暖化防止

ストップ! アイドリング

第1回臨時理事会

(1) 旧体育館前石碑移転について

予算 見積書の内容で 支出項目は奉仕プロジェクト基金取崩で対応

場所 社会奉仕委員会の検討場所

(2) アイドリングストップ運動の展開について

社会奉仕委員会についている予算を利用して車に貼るステッカーを作成したい。予算並びにデザイン等は社会奉仕委員会で検討する。

(3) 50周年実行委員会開催の協議事項について

クラブフォーラム

鶴岡RC創立50周年企画骨子について

●事業の骨格と方針

方針：50周年を祝う事業により、これまでに、奉仕の理想のために尽力された諸先輩の功績に感謝します。

あらためて、その意志を継承し合わせて我々が存在していることを自覚します。

これからは、奉仕の理想の達成のためにいっそう結集し自らの仕事の水準と品位を高め、地域と世界の人々のニーズに応えるために奉仕活動をするのを誓い、鶴岡RCの益々の発展を祈念する。

事業内容：植樹、絵画・彫刻、講演会、50周年記念誌発行、顕彰。

期日：記念事業は3年後の2008-09年度（平成20-21年度）に実施。創立記念日は平成21年2月23日。4-6月（40周年：4月25日）、台中港区統盟式。

参加範囲：40周年記念事業に準ずる。

●予算の方針

方針：事業計画の円滑な実施のために会員の協力により予算を組むことにする。

規模：総額はクラブ拠出金、登録料とその他とする。そのために、50周年記念事業特別会計を作成する。

クラブ拠出金：クラブ拠出金は300万円とし、それまでにクラブ拠出金積立特別会計（50周年準備基金）を作成する。

この会計は一般会計・奉仕プロジェクト基金・スマイル会計などからの繰入金と会員協賛金からなる。

クラブ拠出金は毎年100万円を3年間にわたって積み立てるものとする。

これらの繰入金と会員協賛金との割合はおおよそ毎年半分位を目途（50 + 50 = 100）とする。

会員協賛金と集金方法：会員協賛金は3年間にわたって毎年集金する。年間一人12,000円とする。一括または分割可能とする。

質疑

秦君：会員協賛金はいつから、どのように集めるのか。

加藤（恒）君：会員協賛金は年会費に組み込んで徴収した方がいいのではないかと。総額どのくらいの予算を考えているのか。40周年の時のファイルがあるはずなので参考にしてほしい。

若生君：個々の話で全体が見えない。このような事業を計画しているので、この位の予算がかかるというのが筋ではないか。

などの意見が出されました。これを受けて8月30日第2回のフォーラムを行なうことになりました。

（テープ録音不良により編集者の記憶で記述しました。一部話した内容と異なる部分があります。ご了承ください。）

委員会報告

●出席委員会

委員長 阿蘇司朗

本日の出席		前々回の出席	
会員数	45人	出席率	70.45%
出席数	27人	修正出席数	34人
出席率	61.36%	確定出席率	77.27%

●メイクアップされた方

藤川享胤君・嶺岸禮三君・佐々木喆彦君

○7月100%以上出席者

225% 1名 藤川享胤君

225% 2名 加藤 功君 富樫松夫君

175% 3名 真島吉也君 斎藤 昭君 塚原初男君

150% 10名 阿蘇司朗君 阿部純次君 秦 幸助君

本間昭吉君 御橋義諦君 越智茂昭君

佐藤孝子君 白幡憲一郎君

富田喜美子君 若生恒吉君

125% 8名 本間喜美子君 石田 雄君

加藤恒介君 丸山隆志君 嶺岸禮三君

佐藤友行君 上野欣一君 吉野隆一君

100% 4名 樋渡美智子君 本間 厚君

足立篤司君 佐々木喆彦君

スマイル

富樫松夫君 クラブフォーラム意見たくさん有難うございました。

佐藤孝子君 インターアクト年次大会無事終わりました。17～19日地区外研修で金沢に行っています。